

INS 水産ロボティクス研究会 in 釜石

水産ロボティクス ～過去・現在・未来～

三陸沿岸部の主要産業である漁業・水産業に顕在化する漁獲量の減少や後継者不足、人手不足などの課題に対し、「ロボット・ロボット技術」に大きな期待が寄せられています。

これまで岩手大学三陸復興推進機構はロボット技術を活用し、資源の調査に資する「水中ロボット」などの研究成果を蓄積して参りました。こうした成果に基づき、持続可能な水産業に総合工学として取り組む「INS水産ロボティクス研究会」を2015年5月に立ち上げました。

本会では、「漁場環境や水産資源の調査・管理」および「肉体的負担軽減」の観点から展開し、最終的には「水産加工・製造」、「流通」、「サービス」に至る一連の流れを総合工学的視野から捉え、「漁業・水産業・水産加工業にロボット技術を展開する」ことを目指します。

今回は、これまで取り組んできた事例を紹介すると共に、新たに立ち上がった「INS水産ロボティクス研究会」の紹介とこの取組に興味がある方とのネットワークの構築を行います。

併せて、将来は水産ロボティクスにも応用できるかもしれない新素材のご紹介も行います。

開催概要

日時 : **8月21日** 金曜日 14:00~18:00 ※ 閉会后、釜石市内で懇親会を予定

場所 : 岩手大学三陸復興推進機構 **釜石** サテライト

講師 : 岩手大学 工学部 機械システム工学科 三好 扶 准教授 (INS水産ロボティクス研究会代表)
同 電気電子・情報システム工学科 萩原 義裕 教授、金 天海 准教授
三陸復興推進機構 ものづくり産業復興推進部門 柳原 圭司 研究員

テーマ : INS水産ロボティクス研究会の紹介

事例紹介 (水中ロボット、塩蔵ワカメの芯抜き機械、

ウニ・アワビ漁に活用できる自律安定小型船舶の開発等)

釜石発の耐食性・耐摩耗性に優れた新素材の開発

主催 : INS水産ロボティクス研究会 / 岩手大学三陸復興推進機構ものづくり産業復興推進部門
公益財団法人 釜石大槌地域産業育成センター / 岩手県新素材・加工産業集積促進協議会

後援・共催 : 岩手大学工学部ソフトパス工学総合研究センター

農林水産ロボティクス研究グループ、実践的ロボットビジョン研究グループ

お申し込み方法・問い合わせ先

8月17日(月)までに電子メールもしくはFAXにて、以下の項目を埋めて申し込み下さい。

お名前	複数人でのお申し込みの場合、お名前区切って記載頂き、合計人数もご記入下さい (合計 人)		
ご所属	電話番号		
	Eメール		
懇親会	懇親会に (参加します ・ 参加しません)		

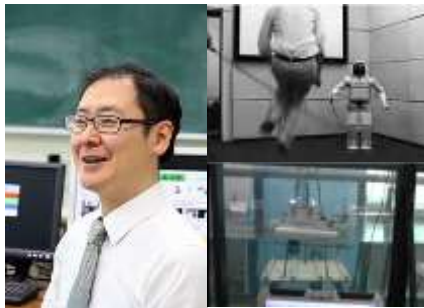
【連絡先・問合せ先】 岩手大学三陸復興推進機構 ものづくり産業復興推進部門 柴田 亮
ryoshiba@iwate-u.ac.jp FAX:019-621-6892 tel:080-6797-4503

講演者



三好 扶 准教授

岩手大学工学部
機械システム工学科
(リハビリテーション科学・
福祉工学、スポーツ工学、
生物模倣ロボット工学)



金 天海 准教授

岩手大学 工学部 電気電子
情報システム工学科
(ロボット、人工知能、
最適化)



萩原 義裕 教授

岩手大学 工学部 電気電子
情報システム工学科
(画像処理工学、パターン
認識工学、ロボティクス)

柳原 圭司 研究員 岩手大学三陸復興推進機構ものづくり産業復興推進部門 (新素材開発)

ご参加頂きたい皆様

- 水産資源調査する水中ロボット、省力化/肉体的負担軽減用ロボットなどに興味のある漁業・水産事業者の皆様
- 将来の新規事業や製品開発に活かしたいと考えているものづくり事業者の皆様
- 産業支援に携わるコーディネーターの皆様
- その他、水産ロボティクスにご関心のある皆様

会場アクセス

岩手大学三陸復興推進機構 釜石サテライト
住所 〒026-0001 岩手県釜石市平田第三地割75-1
電話 0193-55-5691 (代表) FAX 0193-36-1610



岩手大学三陸復興推進機構ものづくり産業復興推進部門について

三陸沿岸部のものづくり企業の復興を支援する為に、(公財)釜石大槌地域産業育成センターに各種加工機械と専任スタッフを配置し、技術向上や試作品製造の相談対応の他、岩手大学の盛岡キャンパスとも連携し、共同研究やビジネスマッチングの支援なども実施しています。
(お問い合わせは ryoshiba@iwate-u.ac.jp 080-6797-4503 柴田まで)



※尚、本勉強会は新素材・加工産業の復興を通じた雇用創造プロジェクトの高度ものづくり研修の一環で行います。